

**平成29年度 地域の特性を活かしたエネルギーの地産地消促進事業費補助金
(分散型エネルギーシステム構築支援事業のうち構想普及支援事業)
マスタープラン策定の採択結果について**

平成29年8月10日

採択結果について

評価委員会での審議に基づいて厳正な審査を行い、以下の事業について採択が決定しました（採択決定日：平成29年8月10日）。
なお、今後の参考として、採択された案件で評価の高かった項目および不採択となった案件で評価の低かった項目に関する委員会からのコメントについても別紙に掲載しておりますので、ご参照ください。

平成29年度地域の特性を活かしたエネルギーの地産地消促進事業費補助金（分散型エネルギーシステム構築支援事業のうち構想普及支援事業）
マスタープラン策定 採択事業一覧

採択事業者	申請地域	補助事業の名称
東京ガスエンジニアリングソリューションズ株式会社 太田市 太田都市ガス株式会社	群馬県太田市	おおた渡良瀬産業団地における地産地消型エネルギー供給事業マスタープラン
一般社団法人美園タウンマネジメント サミットエナジー株式会社 みやまスマートエネルギー株式会社 さいたま市 立山科学工業株式会社 西松建設株式会社	埼玉県さいたま市浦和美園地区	浦和美園地区・地産地消型再生可能エネルギー活用プラン策定事業
岳南電車株式会社 東京電力エナジーパートナー株式会社 静岡県富士市 JFEエンジニアリング株式会社 テス・エンジニアリング株式会社 静岡ガス株式会社 東京電力パワーグリッド株式会社 日本電気株式会社 株式会社ヒラテ技研	静岡県富士市	岳南鉄道線軌道敷を活用した地域電力事業
関西電力株式会社 大阪市 株式会社関電エネルギーソリューション 株式会社日建設計総合研究所	大阪府大阪市	中之島3・4丁目地域熱供給プラントのネットワーク化及び未利用エネルギー活用によるエリアエネルギーマネジメントシステム構築マスタープラン策定
アーバンエナジー株式会社 JFEエンジニアリング株式会社 熊本市	熊本県熊本市	廃棄物処理の余剰エネルギー活用によるくまもと型地産地消エネルギーモデル・マスタープラン策定事業

＜参考＞

1. 採択された案件で評価の高かった項目に関する委員のコメント

評価項目	評価ポイント	委員からのコメント
目的・位置づけの妥当性	<ul style="list-style-type: none"> ・策定を行うマスタープランの対象地域の現状や課題、目指す分散型エネルギーシステムの姿が明確であること。 ・地域性を活かし、効果的な分散型エネルギーシステムの構築に向けた事業となっていること。 ・実施場所及び対象需要が具体化していること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくりとの連動も確認でき、相乗効果が期待できる。 ・市施策に相伴する構想の推進等注目すべき事業である。 ・エリアエネルギーマネジメントへの展開など、まちづくりとの連動も確認でき、相乗効果が期待できる。
補助事業の具体性	<ul style="list-style-type: none"> ・分散型エネルギーシステムの構築に向けたエネルギー需給の管理（エネルギーマネジメント）に関する事業であること。また具体的かつ詳細なマスタープランの策定方針であること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・確実なエネルギー需要が見込まれ、事業計画としてまとまっている。 ・実態把握、対象施設、システム構想等確立されている。 ・計画案から十分検討されていることが確認出来る。
補助事業の先導性	<ul style="list-style-type: none"> ・分散型エネルギー等の課題を解決するための優れた特性を有するものであって、他地域への普及可能性が優れたものであること。 ・エネルギーマネジメント等のシステムや事業スキームに創意工夫がみられること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域が推進する新しいメニューと連携した構想は適切な調査提案である。 ・申請された構想は全国的に普及段階に入りつつあり、モデル効果が期待できる。
補助事業実施の確実性	<ul style="list-style-type: none"> ・本事業における実際の作業内容・作業量が具体的に記載されており、かつ実施体制、方法、スケジュールが効率的・実現可能なものであること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実施内容から運開計画等までの詳細が設定されており、事業の確実性が高い。
対象事業の事業化可能性	<ul style="list-style-type: none"> ・マスタープラン策定を行う対象事業の事業化の確実性が高く、かつ実施体制が整っていること。 ・資金調達の見込みが立っていること。 ・対象事業が関連法規に抵触しないことについて検討を終えていること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・想定されている投資採算性や自己資金による計画等から、事業化の可能性は高い。 ・運開計画等の詳細が設定されており、具現化の可能性が高い。

2. 不採択となった案件で評価の低かった項目に関する委員のコメント

評価項目	評価ポイント	委員からのコメント
目的・位置づけの妥当性	<ul style="list-style-type: none"> ・策定を行うマスタープランの対象地域の現状や課題、目指す分散型エネルギーシステムの姿が明確であること。 ・地域性を活かし、効果的な分散型エネルギーシステムの構築に向けた事業となっていること。 ・実施場所及び対象需要が具体化していること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・意図するモデルが想起できない。 ・具現化しても事業採算的に非効率なシステムとなる可能性が高い。 ・総花的に検討されている。
補助事業の具体性	<ul style="list-style-type: none"> ・分散型エネルギーシステムの構築に向けたエネルギー需給の管理（エネルギーマネジメント）に関する事業であること。また具体的かつ詳細なマスタープランの策定方針であること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・エネルギーマネジメントシステムの方向性が見えない。 ・事業化可能性調査相当の計画である。
補助事業の先導性	<ul style="list-style-type: none"> ・分散型エネルギー等の課題を解決するための優れた特性を有するものであって、他地域への普及可能性が優れたものであること。 ・エネルギーマネジメント等のシステムや事業スキームに創意工夫がみられること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・他の地域で申請内容と同様の問題を持つ地域が少なく、波及効果は期待できない。 ・事業内容に新規性が認められず、補助対象として不十分。

<p>対象事業の事業化可能性</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ マスタープラン策定を行う対象事業の事業化の 確実性が高く、かつ実施体制が整っていること。 ・ 資金調達の見込みが立っていること。 ・ 対象事業が関連法規に抵触しないことについて 検討を終えていること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 対象地の地勢条件が本システムの導入に最適か疑問あり。 ・ 過去に同様のFS実績があるが、具現化がされていない。 ・ 調査前から長期に渡る投資回収年が想定されている。
--------------------	--	--

以上